

北海道広尾郡広尾町議会

2 住民に開かれた議会

平成27年1月に施行した広尾町議会基本条例に基づき、「住民に開かれた議会」をめざし、以下の各種取り組みを実施している。

○ホームページによる議会情報の公開

従前から議会広報紙、議員の紹介などを町ホームページに掲載し、会議録の公開も行っていたところであるが、議会基本条例の趣旨に基づき、平成27年4月から本会議における議案の審議結果、賛否状況や議員の出欠状況などの「議会の活動状況」や議会用語の解説など掲載項目を増やしたほか、既設項目も内容を追加し、議会情報の公開に積極的に努めている。

また、従前から実施している役場庁舎内テレビにおける議会中継に加え、平成26年9月からはインターネットを利用した本会議や委員会のライブ中継及び録画中継も開始し、議場に足を運ばなくても気軽に議会審議の様子を見ることができるようになった。

○町民に親しまれる議会広報誌づくり

議会広報誌は議会広報特別委員会（委員6人）を設置し、年4回（3、6、9、12月の各1日）発行している。また、定例会の翌月1日に「議会速報」を発行し、審議された概要を町民にお知らせしている。

編集について、従前は議会広報特別委員会を1回開催して事務局が作成した内容の確認、修正を行うのみであったが、編集に委員がもっと積極的に携わってもらうため、平成28年度から、定例会最終日及び事務局による編集作業終了後の2回、「議会広報編集会議」を開くこととした。1回目の編集会議では、ページ割や掲載記事の優先順位等を決定し、2回目の編集会議では見出しのつけ方や写真、図表の使い方等について意見を交わすなど、より町民にわかりやすい内容となるよう努めている。その後最終の議会広報特別委員会を開催し、内容の最終確認を行っている。

編集技術の習得についても、定期的に全道の広報研修会に参加しているほか、平成29年度には町議会独自に「住民が読みたくなる『議会広報』づくり」をテーマとした研修を行い、文章要約や見出しのつけ方など編集技術の向上を図った。その研修内容を踏まえ、編集会議において一般質問の見出しをよりよいものとするため、各委員が案を出して議論し、より興味を引く見出しを作り上げている。

○議会モニター制度の活用

議会基本条例に「議会モニターの設置」が規定されており、平成27年4月に制定した「議会モニター設置要綱」に基づき、町民からの要望や提言等を広く聴き、議会運営に反映させることを目的として議会モニター制度を実施している。

町民の中から公募等によりモニター（任期2年）を委嘱し、議会の傍聴や議会広報誌の内容等を通じ、随時議会運営に関する意見を聞いている。また、年2回モニターと議員が意見交換する議会モニター会議を開催している。

○議会報告会、議会懇談会の開催

議会活動（委員会活動を含む）の状況を地域に出向いて町民に直接報告・説明し、議会活動に対する批判や意見、町政に対する提言などを直接聞く機会とするため、議会報告会及び議会懇談会を開催している。

議会報告会は年1回、議員2班体制で実施し、議会の審議結果や活動内容のほか、町政の重要課題等について町民へ報告し、意見交換を行っている。平成29年度は6会場で開催し、町民129人の参加があった。

議会懇談会は、産業団体や女性団体などの町内各種団体と自由な意見交換、懇談を行う場として開催している。議員3班体制で年数回実施している。

議会報告会、懇談会ともに、町民から出た意見等については全体で集約して各議員の活動に活用している。また、議会広報誌や議会速報で町民にも周知しているほか、町政に関する意見については執行者へ通知している。

今後は議会活動を町民に理解してもらい、より活発な意見交換が行えるよう報告内容や運営等についてさらなる改善が必要と考えている。

○高校生議会の開催

次代を担う高校生の視点から町に対する要望や意見を表明する機会をつくることで、社会への参画意識の高揚を図るとともに議会やまちづくりに対する関心、理解を深めてもらうことを目的とし、平成28年2月3日に高校生議会を開催した。

広尾高校の生徒代表8人が議員となり、執行者へ一般質問を行った。高校側からの要望もあり、開催2日前に質問の内容等について議員が生徒へアドバイスを送る交流事業を実施した。

○議員の自己評価を公開

町民に対し議会情報の積極的公開を進めることを目的に、「議員一人一人が1年間どのように考え、どう活動したか」を振り返る自己評価の実施を平成29年分の活動から予定している。実施結果については、議会広報等で町民へ公表する。

○議場を開放しての行事を開催

平成28年度に「広尾町はサンタのまち、議会からも取り組みをしては」との議員からの提案を受けて、12月定例会の会期中、本会議場にクリスマスツリーを飾る取り組みを行った。

平成29年度も同様の取り組みを実施するとともに、12月に議場を使用しての「ジャズコンサート」の開催を予定している。（主催は議員会）

普段なかなか入ることのない議場でイベントを行い、多くの町民に足を運んでもらうことで、より議会を身近に感じてもらうことを目的に開催するものである。

今後も町民にとって議会や議員がもっと身近なものになるよう、さらなる情報公開に努めるとともに、議員個々の資質向上を図り、町民に信頼される「たのしい議会」となるよう継続して取り組みを進めていく。